

心、ころころ。晴れのち、やがて雨。

前は調子よかったのに最近は気持ちが沈んだまま。それは双極性障害そうきょくせいしょうがいのせいかもしれません。

「そう」のとき

- 気分がよく、調子がいい
- アイデアがどんどんわいて、よくしゃべる
- 活動的になって、じっとしてられない
- 眠らなくても大丈夫と感じる

家族や周囲の方に聞いてみましょう。

「うつ」のとき

- 一日中ゆううつで、悲しい
- 何もしたくない、つまらない
- からだが重くて疲れやすい
- 夜眠れないし、起きるのがつらい
- 料理の手順がわからなくなる
- 自信がなく、自分を責めてしまう

双極性障害は、気分がよく、活動的になる「そう」と、ゆううつで何もしたくない「うつ」がくり返される病気です。

双極性障害(そううつ病)の 治験に参加してみませんか？

ご参加いただける方

- 上記の「そう」のとき、「うつ」のときに心当たりのある方で、現在、「うつ」の方
- 20歳～64歳(性別は問いません)

※他にも参加基準があります。場合によってはご参加いただけないことがあります。詳しくはお問い合わせください。

医療法人 卯の会 新垣病院
098-933-2756(代表)